



ならやまオープンセミナー:

講演と語り:

グリム童話と奈良の民話

奈良には神社・仏閣や古墳の壁画など世界遺産がたくさんあります。これらはすべて有形文化財です。これに対し、グリム童話や民話は、無形文化財です。先祖から語り継がれてきたお話は、目に見えないけれど、人生の智慧が詰まっています。

今回は、グリム童話「幸せハンス」、アンデルセン童話「父さんのすることはいつもよし」、日本の民話「わらしべ長者」、奈良の民話「鬼子母神とザクロ」を取り上げます。説話の東西比較を通して、語りの魅力に迫ります。そのため、図書館や学校で語りの実践をしておられる村上郁さんに語って頂きながら、講演をすすめていきます。

それではお話のはじまり、はじまり。「むかーし、あるところに...」

◇ 日時：11月8日(土) 13:30~15:30

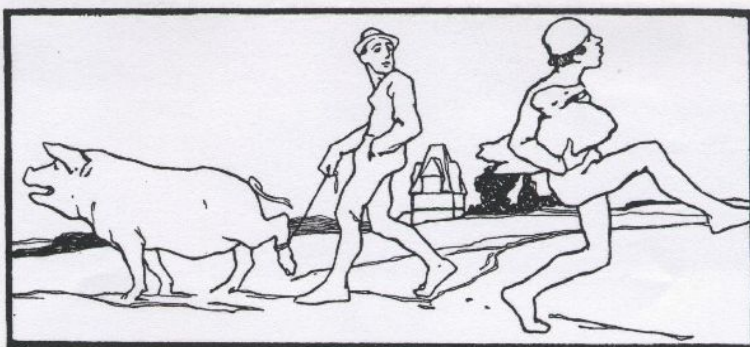
◇ 会場：奈良教育大学 管理棟2F大会議室

(近鉄奈良駅またはJR奈良駅より市内循環バス「高畑町」下車)

◇ 講師：本学教授 たけはら たけしげ 竹原 威滋



研究分野はドイツ伝承文学で、グリム童話や日欧の民間説話の比較研究に従事。奈良県下で民話調査も実施。また、「奈良子どもの本連絡会」と交流し、地域での語りの文化の再生にも取り組んでいる。「NHK おはなしステージ in なら燈花会」の監修・解説を務める。近著に『グリム童話と近代メルヘン』（三弥井書店刊）。



グリム童話「幸せハンス」(挿絵: オットー=ウッペローデ) 「鬼子母神とザクロ」(東大寺二月堂境内)

【対象】 一般市民、本学教職員・学生 【申込】 不要 【参加費】 無料

【実施機関・問合わせ先】 奈良教育大学 学術情報研究センター図書館

Tel : 0742-27-9135(総務担当) Mail: ga-soumu@nara-edu.ac.jp